

音楽ホール

目指す方向性 ▷ 仙台の文化芸術の総合拠点

- ①「楽都仙台」を象徴する実演芸術の拠点
  - ・音楽をはじめとする多様な文化芸術分野において、これまで仙台ではできなかった公演・活動を可能にし、仙台・東北の文化芸術を牽引する拠点
  - ・市民とプロが共に主役となり、仙台ならではの創造発信を行う拠点
  - ・仙台フィル、国際音楽コンクールなどの楽都事業の推進拠点
- ②文化観光交流エリアの新たな核となる拠点
  - ・仙台が誇る文化観光交流エリアである青葉山の新たなシンボル
  - ・周辺施設との連携等によりエリアの魅力をさらに高め、賑わいを生む拠点
  - ・全ての人々に開かれた交流の場
- ③復興の過程で明らかとなった文化芸術力を社会に活かす拠点
  - ・文化芸術の持つ力を、社会の様々な分野に活かしていく拠点
  - ・ホール公演だけではなく多様なアプローチで全ての市民を包摂する拠点

施設として必要な機能

①公演機能	多様な実演芸術の鑑賞機会・発表機会を提供する機能
②練習・創造支援機能	練習をはじめとする、実演芸術の一連の創造プロセスを支援する機能
③交流機能	誰もが日常的に集い、憩い、交流できる機能
④エリア活性化機能	青葉山エリアや都心部の活性化、回遊性向上の拠点としての機能
⑤文化芸術力発揮機能	社会の様々な分野で文化芸術の力を発揮していく拠点としての機能
⑥人材育成機能	これからの仙台の文化芸術を担う人材を育成する拠点としての機能

主要な施設

- 大ホール（クラシックのコンサートやオペラ・バレエの上演などをはじめとする生の音源に対する音響を重視した、2,000席規模のホール）
- 小ホール、リハーサル室、稽古場・練習室、制作室・工房、楽器保管庫
- 広場的空間、ワークショップルーム、交流スペース、サービス施設

中心部震災メモリアル拠点

目指す方向性 ▷ 災害文化の創造拠点

- ①「防災環境都市・仙台」ならではの災害文化創造拠点
  - ・歴史上、数々の災害に襲われながらそれらを乗り越え、快適で防災力の高いまちを創りあげてきた知見や市民力を生かし、未来に向けて、災害を乗り越える術を創造し、継承し、内外に発信し続けることで、各地の防災力向上に寄与する拠点
- ②災害文化を市民のものとし、社会に実装する拠点
  - ・市民の誇りとなる仙台の新たなシンボル
  - ・市民、行政、企業、研究機関など多様な主体が参画・交流し、災害文化を社会の仕組みや日常生活に組み込んでいく拠点

施設として必要な機能

①アーカイブ機能	災害の経験を蓄積・発信・共有するアーカイブ機能
②展示機能	人や時代に応じて視点や構成を変えながら災害経験を表現する機能
③交流連携機能	市民、民間企業、研究・教育機関など多様な層が交流連携し、対話や議論を通じた災害文化の創造と発信ができる機能や広場空間
④活動支援機能	様々な気づきや課題から災害文化の創造につなげるコンシェルジュ機能
⑤ハブ機能	情報を収集し、各地を繋ぎ、発信するハブ機能
⑥シンボル機能	災害の記憶を日常の中で呼びかけるモニュメントや仕掛け、メッセージ性

必要なエリア

- 企画展示・常設展示エリア
- アーカイブ収集・利用エリア（電子／紙）
- 災害文化創造エリア（広場、イベントスペース、セミナールーム）

連携  
融合

文化芸術・災害文化の親和性

- ・多様な感性や発想をもとに人が創り出すものであること
- ・心豊かな、より良い社会の実現に資するものであること
- ・新たな交流を創出し、人と人との絆を形成するものであること
- ・特に本市においては、東日本大震災を契機として、その必要性が強く意識されるようになったものであること

複合施設としてのあり方・目指す方向性

- ①誰もが気軽に・自由に集い、新たな価値に出会うことができ、そこに集った多様な人々の交流が次の創造的取組へとつながっていく場（#クリエイティブ #イノベーション）
- ②全国的にも例を見ない文化芸術と災害文化の複合施設として、仙台の都市個性を高め、国内外に向け「仙台オリジナル」の文化の発信を行っていく場（#先進性 #発信力）
- ③青葉山エリアに立地する特性を活かし、周辺施設との有機的な連携のもと、仙台の文化観光の拠点として、広域から人を呼び込むことのできる場（#コラボレーション #魅力向上）